

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	福岡女学院大学短期大学部
設置者名	学校法人 福岡女学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
短期大学部	英語	夜・通信	0	0	20	20	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.fukujo.ac.jp/university/compendium/disclosures.html>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	福岡女学院大学短期大学部
設置者名	学校法人福岡女学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

公表方法：ホームページ
<https://www0.fukujo.ac.jp/disclosure/officer/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	2022. 6. 1～ 2025. 5. 31	財務
非常勤	株式会社役員	2021. 6. 1～ 2024. 5. 31	広報
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	福岡女学院大学短期大学部
設置者名	学校法人 福岡女学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>																									
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画(シラバス)の作成過程 毎年11月に次年度の科目担当責任者へ依頼を行う。入稿後、各学部教務部委員により、授業計画(シラバス)の内容(成績評価基準を中心に)の確認を行っている。その結果、必要に応じて訂正を行う。 ・授業計画の作成・公表時期 授業計画の作成は毎年11月から翌年の2月まで作業を行っている。授業計画には、下記の事項等を記載している。 「授業の方法」(講義、演習、実験、実習の別)「授業のテーマ及び到着目標」 「授業概要」「授業計画」(授業回数含む)「成績評価」「事前・事後学習」「留意事項」「実務経験の有無」 なお、公表時期については、3月中旬に公表を行っている。 																									
授業計画書の公表方法	<p>ホームページにおいて公表 https://www.fukujo.ac.jp/university/about/disclosure</p>																								
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>																									
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位授与又は履修認定の厳格かつ適正な実施状況 授業計画(シラバス)に予め記載された適正な方法(各授業科目において、試験やレポート、授業への参加度など評価基準を具体的に明示)により実施している。本学で定められた成績評価の基準(GPA)については下記を定めている。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>評価</th> <th>成績評価基準</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">合格</td> <td>AA</td> <td>100点～90点</td> <td>非常に優れている</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>89点～80点</td> <td>優れている</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>79点～70点</td> <td>単位認定が妥当</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>69点～60点</td> <td>単位が認定される最低限度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">不合格</td> <td>D</td> <td>59点～0点</td> <td>単位認定は不適当</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>—</td> <td>失格</td> </tr> </tbody> </table>		区分	評価	成績評価基準		合格	AA	100点～90点	非常に優れている	A	89点～80点	優れている	B	79点～70点	単位認定が妥当	C	69点～60点	単位が認定される最低限度	不合格	D	59点～0点	単位認定は不適当	F	—	失格
区分	評価	成績評価基準																							
合格	AA	100点～90点	非常に優れている																						
	A	89点～80点	優れている																						
	B	79点～70点	単位認定が妥当																						
	C	69点～60点	単位が認定される最低限度																						
不合格	D	59点～0点	単位認定は不適当																						
	F	—	失格																						

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

- ・ GPAの客観的な指標の具体的な内容（指標の算出方法など）
合格・不合格の評価を5段階で行うとともに、全学的な学力を評価する指標としてGPAを利用している各科目の成績評価は以下の基準で実施している。

- ・ 客観的な指標の適切な実施状況

区分	評価	成績評価基準	1単位あたりGP
合格	AA	100点～90点	4
	A	89点～80点	3
	B	79点～70点	2
	C	69点～60点	1
	N	認定	—
不合格	D	59点以下	0
	F	失格	0

- ・ 算出方法

成績が確定した履修登録科目の成績評価 GP に、その科目に与えられている単位数を掛けたものを、総単位数で割る。計算式は以下の通りである。

$GPA =$

$$\frac{4 \times \text{AAの修得単位数} + 3 \times \text{Aの修得単位数} + 2 \times \text{Bの修得単位数} + 1 \times \text{Cの修得単位数}}{\text{総単位数 (D、Fの単位数を含む)}}$$

客観的な指標の算出方法の公表方法

全学生がWEB上にて閲覧可能な「履修ガイド」にて公表しており、冊子としても希望学生に配布している。また、外部からもWEB上で履修ガイドを閲覧（必要に応じて配布）することができる。

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

- ・ 卒業の認定に関する方針の具体的な内容は下記の通りである。

福岡女学院大学短期大学部では、教育の使命ならびに目的を達するために、本学の教育課程を通して以下に挙げるものを身につけ、所定の単位（65単位以上）を収めた学生に短期大学士の学位を授与する。

1. イエス・キリストを通して、神を畏れ、すべての人を愛し、奉仕する態度およびキリスト教に関する知識を獲得している。
2. 異なる文化・歴史及び、社会的・世界的なことがらに関する教養を身につけ、英語・英文学に関する専門知識を獲得している。
3. 自己のキャリアを構想し、実現するための専門知識を獲得している。
4. 論理的に考え、明瞭に表現し、創造する能力を身につけている。
5. 社会に貢献できる人材として必要となる技術や知識、教養を身につけている。
6. 英語を適切に用いて、コミュニケーションをとるために必要な技能と知識を獲得している。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページにおいて公表 https://www.fukujo.ac.jp/university/faculty/junior_college/english/#bge-policy
----------------------	---

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	福岡女学院大学
設置者名	学校法人福岡女学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www0.fukujo.ac.jp/disclosure_1/
収支計算書又は損益計算書	https://www0.fukujo.ac.jp/disclosure_1/
財産目録	https://www0.fukujo.ac.jp/disclosure_1/
事業報告書	https://www0.fukujo.ac.jp/disclosure_1/
監事による監査報告(書)	https://www0.fukujo.ac.jp/disclosure_1/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.fukujo.ac.jp/university/about/disclosure

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.fukujo.ac.jp/university/evaluation/

(3) 学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 短期大学部
教育研究上の目的 (公表方法: ホームページ) https://www.fukujo.ac.jp/university/compendium/policy.html
(概要) 本学は、イエス・キリストに基づく福岡女学院創立の精神にのっとり、神を畏れ、奉仕に生きるよき社会人を育成するために、教育基本法および学校教育法に従って女子の専門教育を行ない、高い教養と実地的な専門知識を授けることを目的とする。 英語科は、英語運用能力を伸ばし、コミュニケーションの手段としての英語を習得させるとともに、その言語を通して自己と自己を取り巻く世界を探求させる。スキルの習得と教養教育の融合によって、世界に貢献できる国際人の養成を目的とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: ホームページ) https://www.fukujo.ac.jp/university/faculty/junior_college/english/
(概要) 福岡女学院大学短期大学部では、教育の使命ならびに目的を達するために、本学の教育課程を通して以下に挙げるものを身につけ、所定の単位(65単位以上)を収めた学生に短期大学士の学位を授与する。 1. イエス・キリストを通して、神を畏れ、すべての人を愛し、奉仕する態度およびキリスト教に関する知識を獲得している。 2. 異なる文化・歴史及び、社会的・世界的なことがらに関する教養を身に付け、英語・英文学に関する専門知識を獲得している。 3. 自己のキャリアを構想し、実現するための専門知識を獲得している。 4. 論理的に考え、明瞭に表現し、創造する能力を身に付けている。 5. 社会に貢献できる人材として必要となる技術や知識、教養を身に付けている。 6. 英語を適切に用いて、コミュニケーションをとるために必要な技能と知識を獲得している。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: ホームページ) https://www.fukujo.ac.jp/university/faculty/junior_college/english/
(概要) 福岡女学院大学短期大学部ディプロマ・ポリシーを実現するために、次のカリキュラム策定の方針を定める。 1. 福岡女学院の根幹を支えるキリスト教の価値観や考え方を学び、イエス・キリストを通して神を畏れ、すべての人を愛し、奉仕する態度を身につけられるようにするためにキリスト教科目群を設置する。 2. 異なる文化・歴史及び、社会的・世界的なことがらに関する教養を身に付け、英文学に関する専門知識を獲得するために、専門科目群を設置する。 3. 自己のキャリアを構想し、実現するための専門知識を身に付けるために、キャリア科目群を設置する。 4. 論理的に考え、明瞭に表現し、想像する能力を磨くために、創造表現科目群を設置する。 5. 社会に貢献できる人材として必要となる知識、教養を身に付けるために、教養科目群を設置する。 6. 英語を適切に用いて、コミュニケーションを取るために必要な技能と知識を身に付

けるために、英語スキル科目群を設置する。
*教養科目群には、大学で開講される指定科目も含む。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ）

https://www.fukujo.ac.jp/university/faculty/junior_college/english/

（概要）

短期大学部英語科では、英語によるコミュニケーション能力を伸ばし、異文化理解を深めるとともに、社会に貢献できる人材を育成します。したがって、英語科では次のような学生の入学を期待しています。

1. 英語に興味を持ち、実践的な英語運用能力を向上させようとする学生。
2. 自己と自己を取り巻く世界を探究しようとする好奇心を持つ学生。
3. 自国の文化と異文化に興味を持ち、相互の理解を深めようと努める学生。
4. 教養を深め、社会に貢献できる力を身につけようとする積極的な学生。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページ

<https://www.fukujo.ac.jp/university/compendium/organization.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	0人	—					0人
英語科	—	4人	3人	1人	0人	0人	8人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員				計	
3人		19人				21人	
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：ホームページに学科単位で公開している。					
c. F.D.（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
短期大学部 英語科	100人	26人	26.0%	200人	73人	36.5%	人	人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	100人	26人	26.0%	200人	73人	36.5%	人	人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
英語科	69人 (100%)	11人 (15.9%)	47人 (68.2%)	11人 (15.9%)
合計	69人 (100%)	11人 (15.9%)	47人 (68.2%)	11人 (15.9%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) ANA福岡空港株式会社、株式会社JALスカイ九州、株式会社にしけい、ラルフローレン合同会社、北九州市立大学、関西外国語大学、ウィスコンシン州立大学、明治学院大学、福岡女学院大学				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人	人	人	人	人

	(100%)	(%)	(%)	(%)	(%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
・ 授業計画（シラバス）の作成過程 毎年 11 月に次年度の科目担当責任者へ依頼を行う。入稿後、各学部教務部委員により、授業計画（シラバス）の内容（成績評価基準を中心に）の確認を行っている。その結果、必要に応じて訂正を行う。
・ 授業計画の作成・公表時期 授業計画の作成は毎年 11 月から翌年の 2 月まで作業を行っている。授業計画には、下記の事項等を記載している。 「授業の方法」（講義、演習、実験、実習の別）「授業のテーマ及び到着目標」 「授業概要」「授業計画」（授業回数含む）「成績評価」「事前・事後学習」 「留意事項」「実務経験の有無」「教室使用言語」 なお、公表時期については、3 月中旬に公表を行っている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)																								
・ 単位授与又は履修認定の厳格かつ適正な実施状況 授業計画（シラバス）に予め記載された適正な方法（各授業科目において、試験やレポート、授業への参加度など評価基準を具体的に明示）により実施している。本学で定められた成績評価の基準（GPA）については下記を定めている。																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>評価</th> <th>成績評価基準</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">合格</td> <td>AA</td> <td>100 点～90 点</td> <td>非常に優れている</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>89 点～80 点</td> <td>優れている</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>79 点～70 点</td> <td>単位認定が妥当</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>69 点～60 点</td> <td>単位が認定される最低限度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">不合格</td> <td>D</td> <td>59 点～0 点</td> <td>単位認定は不適當</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>—</td> <td>失格</td> </tr> </tbody> </table>	区分	評価	成績評価基準		合格	AA	100 点～90 点	非常に優れている	A	89 点～80 点	優れている	B	79 点～70 点	単位認定が妥当	C	69 点～60 点	単位が認定される最低限度	不合格	D	59 点～0 点	単位認定は不適當	F	—	失格
区分	評価	成績評価基準																						
合格	AA	100 点～90 点	非常に優れている																					
	A	89 点～80 点	優れている																					
	B	79 点～70 点	単位認定が妥当																					
	C	69 点～60 点	単位が認定される最低限度																					
不合格	D	59 点～0 点	単位認定は不適當																					
	F	—	失格																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学部名</th> <th>学科名</th> <th>卒業に必要な 単位数</th> <th>GPA 制度の採用 (任意記載事項)</th> <th>履修単位の登録上限 (任意記載事項)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>短期大学</td> <td>英語</td> <td>65 単位</td> <td>有・無</td> <td>単位</td> </tr> </tbody> </table>	学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)	短期大学	英語	65 単位	有・無	単位														
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)																				
短期大学	英語	65 単位	有・無	単位																				
GPA の活用状況 (任意記載事項)	公表方法：																							
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)	公表方法：																							

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.fukujo.ac.jp/university/establishment/top.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
短期 大学部	英語科	686,000 円	200,000 円	332,300 円	施設設備費 200,000 円 休学の場合：在籍料 120,000 円 実験実習費：12,300 円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組	
<p>(概要) 本学における修学支援は主に学生部委員会および学生課が担っている。</p> <p>年度初めに約1週間の期間を設けてオリエンテーションを実施している。この期間内に、奨学金制度を始め学生生活全般に関するオリエンテーションを実施し、大学生活を順調に過ごせるように支援している。経済的支援については、日本学生支援機構奨学金、地方自治体奨学金、保育士修学資金他多くの奨学金を取り扱っている。また、本学独自の給付型奨学金(修学支援奨学金、家計急変奨学金)を運用している。なお、家計急変奨学金については、随時募集し学業継続の支援を行っている。</p> <p>・「福岡女学院大学 自己点検・評価報告書」 p.28-29 https://www.fukujo.ac.jp/university/burger_editor/burger_editor/dl/126__amlrb2h5b3VrYQ-D-.pdf</p> <p>・「入試情報 奨学金・特待生」 https://www.fukujo.ac.jp/university/exam/detail/scholarship</p>	
b. 進路選択に係る支援に関する取組	
<p>(概要) 本学におけるキャリア支援は進路就職委員会、大学キャリアセンターが中心となって行っている。卒業年次生のアドバイザー教員に各学生の就職意図と進行状況に関する詳細を記載するファイルを作成・配布・回収し情報の共有を進めている。支援を実効性のあるものにするため、アドバイザー教員に年間の「就職支援プログラム」を配布し、学生への参加を促すよう依頼している。また、出口対策について大学キャリアセンターに統合され、入学時から一貫したキャリア支援を強化する。</p> <p>・「福岡女学院大学 自己点検・評価報告書」 p.28-29 https://www.fukujo.ac.jp/university/burger_editor/burger_editor/dl/126__amlrb2h5b3VrYQ-D-.pdf</p> <p>・「就職・進路」 https://www.fukujo.ac.jp/university/careers/</p>	
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組	
<p>(概要) 本学における心身の健康等の支援は主に学生部委員会、学生心理相談室、および学生課保健室が担っている。学生の心身の相談は「学生心理相談室」が担っている。常勤の臨床心理士を配置し、学生生活で抱える様々な心理的悩みや問題の相談を受け付けている。障害のある学生への修学支援の相談窓口を学生心理相談室として、学部・学科、事務部各課、科目担当教員との連携を行っている。</p> <p>学生の身体の相談は「学生課保健室」が担っている。常勤の保健師・看護師を配置し、健康相談や定期健康診断、病気の早期発見、応急処置等を行っている。2020年度から現在、第5類に変更されてからも、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、学生への感染防止周知や感染もしくは濃厚接触者となった学生からの報告や相談に対して助言や指導を行ってきた。</p> <p>・「福岡女学院大学 自己点検・評価報告書」 p.28-29 https://www.fukujo.ac.jp/university/burger_editor/burger_editor/dl/126__amlrb2h5b3VrYQ-D-.pdf</p> <p>・「学生心理相談室」 https://www.fukujo.ac.jp/university/life/campus/counseling</p> <p>・「学生生活」 https://www.fukujo.ac.jp/university/life/campus/counseling</p>	

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページ

<https://www.fukujo.ac.jp/university/about/disclosure>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F240310111051
学校名	福岡女学院大学短期大学部
設置者名	理事長 片野 光男

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		20人	19人	20人
内訳	第Ⅰ区分	13人	—	
	第Ⅱ区分	—	—	
	第Ⅲ区分	—	—	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				20人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	—		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	—		
計	—		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。